

稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



愛知県植木センター梅園



発行所／稲沢市観光協会 発行人／鈴木 清 稲沢市朝府町15番12号(稲沢市産業会館内)
[TEL] 0587-22-1414 [FAX] 0587-22-1424 [HP] <http://www.inazawa-kankou.jp/> [E-mail] inakan@inazawa-kankou.jp

NO.08
2009.1

印刷:日進堂印刷所

新年のあいさつ

▶▶ 新年あけまして、おめでとうございます。

平成21年の清々しい新春を迎えられましたこと心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会を設立いたしまして、早や4年目を迎えることができましたことは、会員を始め、関係者の皆様方のおかげと本当に感謝しております。

昨年は、稲沢市制50周年に当たり、数多くの記念事業が、稲沢市を始め各種団体の皆様により盛大に実施され、マスコミの報告等により市内外に大きく稲沢市を紹介されました。

当観光協会といたしましても、新規事業としてモニターバスツアー“ハギ寺(円光禅寺)と文化財めぐり”、“家庭で作る银杏料理教室”(いずれも有料)を募集しましたところ、いずれも定員一杯になるほ

どの人気でした。

また、観光ガイドマップ、“コミュニティバスに乗って観光地へ行こう!!”のパンフレットの発行、稲沢市マスコットキャラクター「いなっピーグッズ」の制作・販売など、稲沢市の観光PRに努めてまいりました。

本年も、「第3回いなざわ梅まつり」の開催や観光資源の発掘、情報発信の充実を図るとともに関係機関との連携強化に努め、交通の便がよい稲沢市に、観光に訪れていただけますよう事業に邁進いたします。

更に、観光協会組織強化のため、引き続き会員の加入増強に努めてまいりますので、会員を始め市民各位のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。あけまして年頭のごあいさつといたします。



稲沢市観光協会 会長
鈴木 清



稲沢市観光協会 名誉会長
稲沢市長

大野 紀明



マスコットキャラクター
「いなっピー」

▶▶ 新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方とともに輝かしい2009年を迎えることができ、心よりお喜び申し上げます。

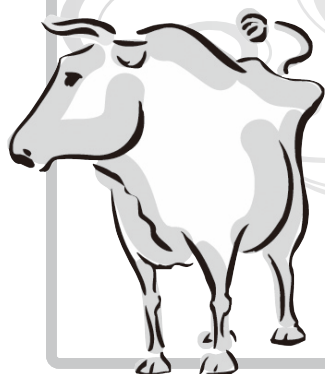
観光協会も会員皆様のご支援とご協力により、順調に活動されており、設立されてから4年目を迎えることとなります。これまで、市内外で開催された各種イベントに参画され、観光PRをはじめ稲沢の特産品販売を行うなど、稲沢市の観光推進母体として情報発信等を中心に活動されてきました。その活動の中での新たな取組としては、稲沢市マスコットキャラクター「いなっピー」のグッズを昨年10月に作成し、各種イベント会場や市内大型店舗等で販売を行い市内外にPRをしていただいております。7月からスタートした稲沢市コミュニティバスを活用した観光施設めぐりのマップ作成や市内の観光施設等のモニターバスツアーを企画され、多くの方に市内にある寺社等で見識を高めていただきました。また、昨年度から実施いたしました稲沢市の歴史ある「まつり」・「建造物」・「自然や町並み風景」等を広く市内外にPRするための第2回都市景観賞作品

募集が挙げられます。本年3月に予定されております梅まつりも第3回を迎え、当市の観光資源を活用した稲沢を代表とする祭りとして市民をはじめ市外の方々にも親しまれています。これらの事業を通して、今一度、「稲沢市特有の観光資源」を再認識することは、観光資源の掘り起こしの一環であり、今後、益々の事業展開が期待されるところでございます。

現在は、世界金融不況で景気低迷による大変厳しい時代の到来となっておりますが、安心・安全で活力あるまちづくりを目指すためにも「観光」が活性化の一助になるものと考えております。

昨年3月に当市の観光振興の指針となる「稲沢市観光基本計画」を策定いたしました。当計画に掲げた施策の実現には当協会が果たす役割は大きく、今後におきまして、当協会と連携を図り、各施策に取り組んでいきたいと考えております。

終わりに、会員皆様のさらなるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。この1年が皆様にとって輝かしいものでありますよう祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。



監事

嶋 辰男
渡邊 和章

友松 隆利

中島 敏雄

酒井 章治

土田 正義

山田 武

川瀬 道船

国立 英夫

加藤 睦郎

田中 浩三

伊藤 彰

竹内 正憲

田中 省三

白下 英之

田中 浩三

大木 和也

鈴木 清

大野 紀明

吉川 昭

久保田浩文

山田 武夫

鈴木 純

吉川 伸二

理事

白下 英之

田中 浩三

大木 和也

鈴木 清

大野 紀明

吉川 昭

久保田浩文

山田 武夫

鈴木 純

吉川 伸二

副会長

大木 和也

鈴木 清

大野 紀明

吉川 昭

久保田浩文

山田 武夫

鈴木 純

吉川 伸二

会長

鈴木 清

大野 紀明

吉川 昭

久保田浩文

山田 武夫

鈴木 純

吉川 伸二

相談役

吉川 昭

久保田浩文

山田 武夫

鈴木 純

吉川 伸二

顧問

山田 武夫

吉川 伸二

謹賀新年

稲沢市観光協会 役員名簿
(月1日現在)

各種イベントに参加し観光PRと特産品の販売を行う。
いずれの会場においても大変好評でした。

◆第1回モニターバスツアー

- 開催日／平成20年9月19日〔木〕
- 場所／稲沢市の史跡文化財等寺社仏閣

“みんなでいこまいかー” 稲沢へ!!

観光協会では、稲沢市には史跡文化財が数多くあることから、市内外の観光客を誘致する一つ的手段として、観光モニターバスツアー「ハギ寺と文化財めぐり」バス1台(40人)を計画いたしました。はぎ寺(円光禅寺)は尾張地方で、かなり名前が知られており、花の咲くこの時期にはたくさんの観光客が訪れていることから、文化財めぐりとハギを楽しんでいただくこと、広報紙による公募や中日新聞に募集記事を掲載していただいたところ、市内外から応募者が殺到し、たちまち定員いっぱいでの盛況ぶりでした。

また、ツアー内容も各文化財の拝観や説明も充分あり、参加者の皆様からは大変満足との好評をいただきました。



◆サンドフェスタ2008

- 開催日／平成20年10月5日〔日〕
- 場所／国営木曾三川公園(ワールドネイチャープラザ)

～開催20周年記念～ 過去、現在、そして未来へ

今年は、第20回記念の節目の年に開会直後から雨が降り出し、11,000人の来場者は、会場にある祖父江砂丘の一角に設置してある砂の造形展で、時代背景に過去・現在、未来を一つの中に融合させた作品やいなっぴーのキャラクター、表現を形で現した造形等、新しい発想の作品に雨の中、子供ずれの親子等たくさんの方々に人気を集めていました。また、その他のイベントには、砂をイメージした大会(ビーチフラッグス、サンドドッジボール、ビーチバレーボール)等のほかバーベキュー大会、宝さがし大会などたくさんの催し物が開催され、参加者は雨にもめげずゲーム等の参加に夢中になっていました。

観光協会では、観光コーナーを設置し、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシによる観光PRに努めました。



◆平成20年度稲沢まつり

- 開催日／平成20年10月18日〔土〕～19日〔日〕
- 場所／国府宮神社参道、稲沢中学校、稲沢市民会館 ほか

“稲沢市政50周年記念” 秋のまつり・イベント盛りだくさん!!

市政50周年を祝うこのまつりに18(土)～19(日)の両日は116,000人の市民が国府宮神社参道を埋め尽くすほどでした。今年は、天気恵まれ各会場で行われたイベントなど活気に充ち溢れ、国府宮神社参道の両側には、地元の出店や側道には露店が立ち並ぶなか行き交う人々で賑わいました。

観光協会では、稲沢市のマスコットキャラクターグッズ7品目の販売と稲沢市の観光PRを行いました。



◆平成20年度「美濃路フェスタinいなざわ」

- 開催日／平成20年10月18日[土]～19日[日]
- 場所／稲沢市国府宮神社参道

～稲沢まつり美濃路海道 交流物産展&美濃路ウォーク!!～

東海道と中山道を結ぶ重要な街道として栄えた美濃路の歴史的役割を顕彰し、美濃路をキーワードに沿線地域と交流を図り、更には地域活性化とまちづくりに繋げることを目的に開催しており、美濃路街道交流物産展や市内の商店や植木苗木の出店など多くの市民が楽しめました。

また、美濃路ウォークラリーには、起点を羽島、起、萩原、清須、名古屋城の5コースから国府宮第2鳥居をゴール地点に、ウォーカー208人が次々にゴールし、主催者が用意した足湯に浸かり、疲れ切った体を癒され安堵の一時を過ごされた。観光協会では、観光ボランティアの協力をいただき、このウォーカーの皆様に参加記念品等をお渡しさせていただきました。

◆第8回木曾川郷土自慢観光物産展

- 開催日／平成20年10月24日[金]～26日[日]
- 場所／名鉄百貨店一宮店 6階イベント広場外

沿川地域をもっと好きになり 生き活きとしたふれあいの輪を広げよう!

この事業は、木曾川沿川の愛知・岐阜両県9市町、国土交通省、愛知県、岐阜県及び官民有志による「木曾川連携クラブ」で構成され、木曾川沿川地域の活性化を図るため、木曾川連携クラブ会員と木曾川源流部の皆さんの協力を得て開催されました。会場となった名鉄百貨店6階催物場には、源流部の名産コーナー・郷土芸能実演や9市町の観光PRコーナーと特産品コーナー等が設置され、近隣市町から15,000人が訪れました。本観光協会からは、銀杏うどん・きしめん、銀杏、木ごよみカレンダー等を大橋米店さんに販売していただき大変好評をいただきました。

◆第38回稲沢市消費生活展

- 開催日／平成20年11月1日[土]～2日[日]
- 場所／稲沢市勤労福祉会館、多目的ホール他

健康いなざわ～めくもりいっぱい!～

健康で明るい生活環境と市民の暮らしに役立つ情報や知識を提供するとともに、消費生活の改善・省資源・省エネルギーなどを自主的に実践する「自ら考え、自主的に行動する消費者」を育てる契機を与える場とするため、毎年各消費者団体の協力をいただいております。この消費問題に関するパネル展示や実演などに今年も2,513人の市民が訪れました。また、屋外では特産品（銀杏、銀杏きしめん・うどん、あしたば饅頭等）販売コーナーや飲食（銀杏きしめん、串カツ、みたらし、どて煮等）コーナーのほか野菜、穀物、花の販売コーナーなども大盛況でした。

◆第11回そぶえいちょう黄葉まつり

- 開催日／平成20年11月29日[土]～12月7日[日]
- 場所／祖父江町体育館会場、山崎会場（祐専寺及び周辺）

～日本一の黄金色 眺めてよし、 翡翠色の銀杏 食べてよし!～

第11回祖父江イチョウ黄葉まつりが、11月29日（土）～12月7日（日）の9日間に渡り開催されました。まつり初日の29日（土）には、稲沢市長、国会議員等々の多くの来賓をお迎えし、オープニングセレモニーやイベント・アトラクションなど盛りだくさんの催し物と抽選会が行われ、東海三県や関西方面の市内外からも大勢の方々が訪れ紅葉を満喫、翌30日には名古屋鉄道主催のハイキング「そぶえいちょう黄葉まつりコース」に4,500人のハイカーや一般観光客等が訪れ、黄金色に染まった山崎周辺のイチョウを見上げ、黄葉の素晴らしさにうっとりとした表情が手に取るように感じられました。また、祐専寺前に設置された飲食コーナーや地元特産品コーナーには、沢山の観光客が飲食されたりお土産に特産品を買求めるなど、沿線近くの農家の人たちも銀杏の販売に追われていました。私たち観光協会では、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや地元にある善光寺東海別院、七福神めぐり、萩須美術館などのチラシによる観光案内やPRを行いました。



01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

●平成21年2月7日〔土〕 ●場所／尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121
 ●交通／名鉄名古屋本線『国府宮』駅下車 徒歩5分・JR東海道本線『稻沢』駅下車 徒歩15分

日本三大奇祭に数えられる国府宮はだか祭。

この祭りは、正しくは「儼追神事(なおいしんじ)」といい、尾張国司が悪疫退散を祈願する厄払いを、尾張大國霊神社(国府宮神社)で行ったのが発祥の由来です。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮一带は祭りの興奮に包まれます。国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。

◆はだか祭関係行事日程表(平成21年)

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
1月27日〔火〕	午前9時	なおいしんじしめぼしらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日
1月27日〔火〕	午前10時	なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)選定式	正月2日
1月31日〔土〕	午前10時	おおかがみちこめあら 大鏡餅米洗い	正月6日
2月1日〔日〕	午前5時	おおかがみもちつき 大鏡餅搗	正月7日
2月1日〔土〕	午後9時	くわがたさい 鍬形祭	正月7日
2月4日〔水〕	午後5時	なおいにん(しんおとこ)さんろう 儼負人(神男)参籠	正月10日
2月5日〔木〕	午前9時	おおかがみもちざりつけ 大鏡餅飾付	正月11日
2月5日〔木〕	午前9時	つちもちつきしんじならびにひふしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日
2月6日〔金〕	午後1時	おおかがみもちほう 大鏡餅奉納	正月12日
2月6日〔金〕	午後7時	ちょうやしんじ 庁舎神事	正月12日
2月7日〔土〕	午後3時	なおいしんじ 儼追神事(はだか祭)	正月13日
2月8日〔日〕	午前3時	よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日
2月8日〔日〕	午前8時	おおかがみもちちぎり 大鏡餅餅切	正月14日
2月11日〔水〕	午後7時	まといしんじ 的射神事	正月17日
2月15日〔日〕	午前10時	ちやかい なおい茶会	

なおいしんじ(はだかまつり)
儼追神事(はだか祭)
しめぼしらたてしき
標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が神社正面に建てられ、祭りの開幕を告げます。

なおいにん(しんおとこ)せんていしき
儼負人(神男)選定式

続いて午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は3日3晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。

なおいしんじ(はだかまつり)
儼追神事(はだか祭)

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮一带は祭りの興奮に包まれます。国府宮神社参道では神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。

おおかがみもちちぎり
大鏡餅餅切

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って希望者に頒布。この餅を食べると無病息災の言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。



観光協会 会員募集中！ 会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

EVENT-information

“みんなでいそまいかあ〜”稲沢へ!!

02 第3回いなざわ梅まつり

●平成21年3月7日(土)・8日(日) ●AM9:30~PM4:00
●場所/愛知県植木センター

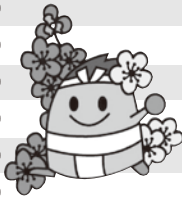
稲沢市は、全国的に植木、苗木の日本四大生産地の一つとして、知られております。会場となります愛知県植木センターには、梅品種園があり、104種類 200本余の梅が、植栽され鮮やかな彩り、芳しい香り、おいしい味覚、心安らく楽園となっております。

館内では、盆梅、ひな人形の展示もします。皆さまのお越しをお待ちしております。



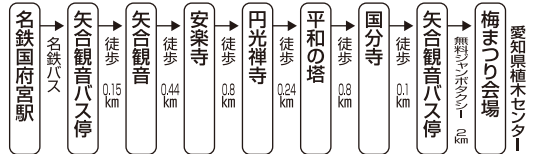
〈イベント〉

内容	日時	
写真コンテスト	3月2日(月)~3月8日(日)	執務時間中
俳句大会	3月2日(月)~3月8日(日)	執務時間中
稲沢市特産品の販売	3月7日(土)~3月8日(日)	
飲食コーナー	3月7日(土)~3月8日(日)	
お抹茶コーナー	3月7日(土)~3月8日(日)	
植木・苗木の販売	3月7日(土)~3月8日(日)	
郵便局切手販売	3月7日(土)~3月8日(日)	
樹木医により緑化相談	3月7日(土)~3月8日(日)	
樹木ウオッチング	3月7日(土)~3月8日(日)	
子供向けコーナー	3月7日(土)~3月8日(日)	
盆梅展(ひな人形)	3月4日(水)~3月8日(日)	館内
第2回いなざわ梅まつり (写真コンテスト・俳句大会)入賞者作品展	2月24日(火)~3月8日(日)	館内
名鉄ハイキング	3月8日(日)	予定



いなざわ梅まつりモデルコース

いなざわ矢合観音と3ヶ寺めぐり



03 へいわさくらまつり

●平成21年4月4日(土)
●場所/日光川桜堤小公園

〈イベント〉

フリーマーケット、飲食コーナー、餅投げ等

平和町には、総延長2,300メートルを桜並木で繋いでいる「桜ネックレス」があります。また、日光川左岸堤の桜づつみは、約30種類の里桜を3月から4月末まで長期にわたって楽しめます。

04 稲沢桜まつり

●平成21年4月5日(日)
●場所/国府宮神社参道

〈イベント〉

茶会、写生大会、飲食コーナー等

国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。夜には桜をライトアップし、宵間に美しい桜が浮かび上がります。

05 “ぼたん寺” (萬徳寺) に行こう!!

●場所/萬徳寺《JR稲沢駅近く》

information

萬徳寺は、768年称徳天皇の命により、慈目上人が建立した古刹。国指定の重要文化財として美しい多宝塔、鎮守堂など貴重な遺産がいっぱいの寺です。境内には、約700本の“ぼたん”が色とりどりに咲きほこります。見ごろは、4月下旬です。



稲沢市キャンペーン・レディー募集

募集人員：3人

任 期：平成21年4月1日~平成22年3月31日

募集期日：平成21年1月30日(金)まで(当日消印有効)

応募資格：満18歳~満30歳までの女性

応募用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)、観光協会

問合せ先：稲沢市観光協会 ☎0587-22-1414